

7月10日　の海外相場								
COMEX/NYMEX (\$)		Gold (Dec)		Silver (Dec)		Platinum (Oct)		Palladium (Dec)
	Open	4,135.4		59.980		1,612.4		1,252.5
	High	4,144.6		60.345		1,639.5		1,289.0
	Low	4,081.7		59.720		1,612.4		1,250.5
	Settlement	4,113.7		59.809		1,619.0		1,276.3
	Change	-27.1		-0.569		-1.4		22.3
EFP		8.00	10.00	- ¢ 30.00	- ¢ 15.00	\$1.00	\$6.00	-\$5.00　\$3.00

Fixing Prices		
LBMA/LPPM Fixing (\$)		
		AM
	Gold	4,102.20
	Silver	59.345
	Platinum	1,620.20
	Palladium	1,269.25
		PM
		4,099.15
		-
		1,618.45
		1,274.45

コメント

Precious Metal

金：横ばい　銀：横ばい　プラチナ：横ばい　パラジウム：小幅上昇

金銀市場は方向感に欠ける展開となった。原油価格下落によるインフレ懸念の後退が支援材料となる一方、中東情勢を巡る不透明感やドル高が上値を抑えた。金は日本時間に4,120ドル付近で始まり、欧州・欧米時間を通じて4,100～4,120ドルのレンジ内で推移。銀も59～60ドル台でのみ合いとなり、全体として様子見ムードの強い一日となった。プラチナ・パラジウム市場も方向感に乏しい展開となった。原油安を背景としたインフレ懸念の後退が支援材料となった一方、中東情勢の不透明感が残る中で積極的な売買は手控えられた。貴金属セクター全体がレンジ相場となる中、プラチナ・パラジウムも金銀に連れる形で小幅な値動きにとどまった。

FX

ドル円：下落　ユーロドル：下落

為替市場ではドル円が統落した。原油価格の下落を受けて米長期金利が低下し、一時161.28円まで下落したものの、その後は原油安が一服し米10年債利回りも持ち直したことで、161円台後半まで買い戻された。日本政府が「骨太の方針」で日銀の独立性に言及する方向で調整しているとの報道もあり、ドル円は方向感に欠ける展開となった。ユーロドルは3営業日ぶりに反落。トランプ米大統領がイランとの対話継続に言及する一方、「停戦は終了した」と表明したことを受け、一時1.1412ドルまで下落した。その後は原油安を背景としたドル売りで1.1440ドル台まで持ち直したものの、米長期金利の上昇を受けて再び上値の重い推移となった。

ドル円：161.68ユーロドル：1.1416

7月13日　週の経済指標一覧									
07/13 (月)				07/14 (火)			07/15 (水)		
Americas				アメリカ・消費者物価指数 (CPI) 06月 [前月比]			アメリカ・フィラデルフィア連銀景況指数 07月		
	前		予	前	0.5%	予	前	10.3	予 15.0
							アメリカ・小売売上高 06月 [前月比]		
	前		予	前		予	前	0.9%	予 0.3%
							アメリカ・ミシガン大学消費者信頼感指数		
	前		予	前		予	前	49.5	予 51.3
APAC	前		予	前		予	中国・実質GDP 第2四半期 [前年比]		
							前	5.0%	予 4.5%
	前		予	前		予			
							前		予
EMEA	前		予	前		予			
							前		予
	前		予	前		予			
							前		予

Source: みんかぶ

COMEX/NYMEX 投機的建玉				
2026/7/7		Gold (Mil oz)	Silver (Mil oz)	Platinum (koz)
	Long	25.0	301.7	1,598.1
	Short	5.6	102.7	667.9
	Net	19.4	199.0	930.3
Change		1.5	6.2	-77.1
				-184.2

Source: CFTC

他社への転送・転用 堅くお断りいたします。

当資料は、信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保障するものではありません。当資料はお客様のお取引判断の参考となる情報提供を目的としており、弊社は、この情報の使用結果について一切責任を負いません。